

おひさま

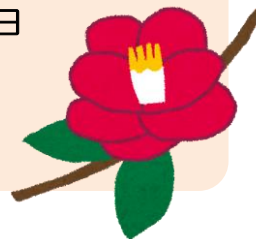
発行：社会福祉法人 **えどがわ**



東京都江戸川区一之江3-2-2
発行責任者：法人事務局

2022年12月25日

第35号



「～食育～魚の解体」西葛西おひさま保育園



「論語」

社会福祉法人えどがわ
副理事長 秋山 秀阿
(光徳保育園園長)

「論語」を知っていますか？

今から 2500 年前に中国の孔子という先生が言ったこと、行ったこと、弟子たちの質問に答えたものをまとめたのが「論語」です。

「論語」は人としての正しい生き方を説いた、時代を超えて読み継がれてきた中国の古典です。

孔子先生は、昨日の自分より今日の自分、今日の自分より明日の自分がよくなるように生きたいと思っていました。そして、人の役に立つ人間になりたい、インチキなことはしないでいたいと思っていました。一番大事にしたのが「志」です。それも、自分だけの為ではなく、世のため人のために自分はこういう人間になりたいという決意が「志」で、そのためには「徳」を積みなさいと言っています。「徳」というのは、誠意がある人に信頼されている、よいことをしようという

気持ちがあるということです。

「己の欲せざる所は、人に施すこと勿れ」自分がされていやなことは人にもしないようにしましょう。相手の立場になって、人に意地悪をしたり、嘘をついたり、悪口を言わないようにしましょうと孔子先生は言っています。

いつも「自分がやられたらどうだろう」と思って、自分がやられて嫌なことは人にしないようにしましょうということを一生のルールにできたら、それだけでその人は「君子」つまり「立派な人」とであると伝えています。

これは簡単なことのようにですが、なかなかできることではないと思います。自分がやられて嫌なことは人にもしないようにと思うことが、大事なことだと思います。

職員は子どもたちが一日安全な環境の中で成長をしたことなど、職員間で業務の振り返りをし、子ども同士の関係性に「やさしい心」の育みを求めるとき、保育士自身「志」をもって明日を見つめ保育の向上に努めています。

新型コロナウイルスの感染数が増え始めているようですが、拡大防止に十分注意しながらの生活で他人に迷惑をかけないようにしましょう。



子育て支援～出前保育を行っています～



保育所として地域の方への子育て支援が大切であり、現在おひさま保育園では、「おひさま子育てひろば」を行っています。しかし、現在は来てくれるのを待っている状態であるため、限られた方のみ保育園を利用いただいています。そのため、保育園側からアプローチし、地域の方と交流を持ち、おひさま保育園を知ってもらい、地域の子どもや保護者の支援をしていく環境を作っていくように出前保育を始めました。

具体的には、在園児と一緒に散歩に行き、季節の絵本を読んだり簡単に遊べる手づくり玩具と一緒に遊んだり、参加して下さった親子に子育てひろばの紹介をしたりしました。実際に行くと、もっと地域の子育て支援に貢献することやおひさま保育園をアピールするために取り組みを生かして、こんなことをしてみるとよいのではないかという思いが出てきました。また、私たち保育士の気持ちを高めるためにも保育士も子育て支援、保護者支援をしていくにあたって保育の専門的知識や技術のスキルアップも必要だと感じました。

保育所における保護者に対する子育て支援は、子どもの保育に関する専門的知識を持っている保育士が子どもや保護者、地域の方との関係を把握し、それらの関係性を高めることで保護者の子育てや子どもの成長を支える大きな力になります。在園児の保護者に対しても、私たち保育士は日々の保育の中で行ってる保護者とのコミュニケーションを通して保護者との信頼関係を築き、保護者の不安や悩みに寄り添い共感し、子育ての意欲や自信になるような環境を作っていきます。

西篠崎おひさま保育園 主任 近藤 菜々美

祝

令和4年度 都政功労者表彰・区政功労者表彰

評議員 石坪 慶仁先生におかれましては、長年にわたり東京都の福祉に貢献された実績が称えられ、東京都功労者表彰を受賞されました。

評議員 米倉 弘喜先生並びに評議員会参与員 大西 正男様におかれましては、長年にわたり江戸川区民の区民生活と文化の向上に尽くされた功績が称えられ、江戸川区区政功労者表彰を受賞されました。おめでとうございます。



法人給食だより



園庭にある大きなミカンが黄色く色づき始め、子ども達と一緒に落ち葉を拾い集め、腐葉土に再利用するような試みをしているこの頃です。

保育園で今行っている食育についてお伝えしたいと思います。4歳児クラスのある夏の日、保育士と子ども達との会話の中で、「バケツの中の給食の食べ残しをなくすにはどうしたらいいかな？」と発信したところ、「残さないで食べる」「好き嫌いをしない」などの声が挙がり、食の細い子からも「全部食べたなら給食さんきっと喜んでくれると思うよ。」という言葉が出ました。これこそ、魔法の言葉！！と感じました。それから、バケツを空っぽに

し、園長先生と給食さんをびっくりさせようということ、＜空っぽ大作戦＞が始まりました。食べ残しゼロの時は給食さんにみんなで報告をします。すると給食さんから「かんしょくおめでとう！！」と書かれた手作りの賞状をもらうようになりました。4・5歳児で合わせて20枚くらいクラスの掲示板に飾ってあり、子ども達にとっては励みとなっています。ちょっとしたことですが、子ども達と給食さんとの関係もとてもよく給食室を通りかかる時に「いつもおいしい給食ありがとう」「今日の給食は何？」と会話も弾んでいます。今では、子ども達の食べることへの意識も高く、食べ残しが少ないため、SDGsへの取り組みにも貢献しています。

美味しく食べる気持ち、作ってくれてありがとうの感謝の気持ちを大切にこれからも食育を進めていきたいと思っています。

東小松川おひさま保育園 副園長 芹口 恵子



給食室の人気メニュー

生揚げとさつまいものかりんとう揚げ

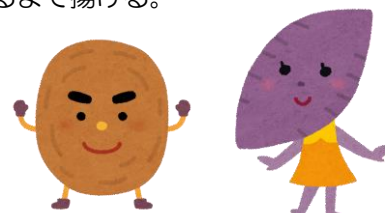
大人2人分・子ども2人分

【材 料】

- ・生揚げ：1枚
- ・さつまいも：中1本
- ・片栗粉：大さじ1強
- ・揚げ油：適量
- ・砂糖：大さじ3
- ・醤油：大さじ3
- ・塩：適量
- ・水：50cc
- ・黒ごま：適量

【作り方】

- ①さつまいもは乱切りにし、水にさらしてアクを取る。
- ②生揚げは1/18切サイコロ状に切り、水にさらしておいたさつまいもをキッチンペーパーで水分を拭き取る。
- ③鍋に砂糖・醤油・水・塩を入れ弱火で少しとろみがつくまで煮詰める。
- ④揚げ鍋に油を用意する。(160℃くらい)
- ⑤カットした生揚げとさつまいもに片栗粉をつけ火が通るまで揚げる。
目安：さつまいも・・・竹くしがスーとささればOK
生揚げ・・・表面がカリッとするまで
- ⑥揚がったらよく油を切り、③のたれに和える。
- ⑦お皿に盛り付け黒ごまを上からかける。



リレー随筆



保護者の皆様にとって
保育園はどんな場所ですか？私も子どもが1歳から保育園でお世話になりました。子どもを授かった時は子育てが楽しみでしかありませんでした。

しかし、現実には食事、アレルギー、夜泣き、病気、友だちとのトラブル、発達の課題と毎日楽しむどころか悩みの連続でした。今思えば「こうなってほしい」という思いが強かったのでしょう。子どもの気持ちを大切にしたいと思いながらも時間が足りず、こんなにも上手く行かないんだ・・・と落ち込む日々でした。そんな苦しかった時、友達、同僚、保育園の先生方に支えて頂きました。登園で泣

き叫ぶ我が子の姿に罪悪感を覚えた時は「お母さんが大好きなだから当たり前よ！大丈夫、あとは任せて」と言って送り出してくれました。体調が悪く仕事が休めないと行き詰った時は「お母さんの変わりはいないのよ」。発達に不安を感じた時「〇〇ちゃんは優しい子ですよ」。といつも励ましてくれました。気持ちに余裕がなかったので先生の言葉に何度も救われました。成長と共に家は家、他人と比べない。ポジティブに考えてこの子のペースに付き合おうと思えるようになりました。子どもも成人し、今もこうして保育の仕事が続けられることに感謝しています。子育てを頑張っている皆さんにとって、保育園が少しでも気持ちの軽くなる場所であってほしいと願っています。あの時貰った優しさに少しでも恩返しが出来たらと思いながら笑顔で過ごしたいです。

鹿骨おひさま保育園園長 橋田 真由美



保護者のみなさまの声

3歳児クラスからお世話になっております。入園した時には、コロナが広まり始めていた中での保育園生活、先生方もとても不安で全てにおいて試行錯誤の毎日だったと思います。私自身、集団生活の場である保育園に子どもを行かせるべきなのか、仕事はどうするのか？とても悩みました。そんな中、子ども達はどんな環境でも、子どもなりに楽しみを見つけ、日々楽しそうにしている姿を見ると、こちら元気をもらい、大人も頑張らないとなと思わせてくれます。息子も毎日のように「今日、保育園楽しかったよ☆」と報告してくれます。保育園生活、最後の運動会では、昔ながらの竹馬や演技など、子ども達が頑張っていた姿にとっても感動しました。何気ない日常に感謝しつつ、残りの保育園生活も楽しい思い出を作っていけたらなと思います。最後に。先生方、いつもありがとうございます。

松本おひさま保育園より

娘が中葛西おひさま保育園に通い始めて3年以上が経ちました。私にとって娘が第一子ということもあり、全てが初めての経験で不安もありましたが、先生方の温かい関わりにより、おかげで娘は、これまで元気に成長してくれました。年齢を重ねるうちに、お友だちとの関わりも増え、家で保育園の話を聞いているとお友達の名前がたくさん出てきます。様々な経験をお友達と一緒にしていることに、親としてとてもありがたく思っています。これからもお友達や先生方との関わりの中で、様々なことを学んでほしいです。また、コロナ禍での行事の実施にもご尽力いただき、子どもたちの生き生きと一生懸命頑張る姿を見ることができてとても感動しました。これからもよろしく願いいたします。

中葛西おひさま保育園より

編集後記



2022年も残りわずかとなりました。振り返ると、今年は北京オリンピックやサッカーワールドカップ等、楽しい出来事もありましたが、ロシアのウクライナ侵攻等、悲しい出来事もありました。2023年は世界中の人々が笑って過ごせる1年になりますように。